

VASO

MP3 コンパクト IC レコーダー

D 10



取扱説明書・保証書

安全に正しくお使い頂くために

この度は、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を正しくご利用頂くための基本的なお取り扱い方法などが記載されております。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

本製品の取り扱いについて

- 製品の汚れを拭き取る際、濡れた布や強い洗剤を含む布を使用しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 機器が故障したり、金属物が入ったりすると、火傷や感電、火災の原因となります。
- 故障の原因となりますので、製品を落としたり衝撃を与えたり、また、液晶画面を強く押ししたりしないでください。
- 以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所
 - ・火気付近
 - ・気温の低すぎる場所
 - ・浴室などの湿度の高い場所
 - ・ほこりの多い場所
- 音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聴くと、聴力に影響を与える可能性があります。
- クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。相互故障の原因となります。
- 水に濡らさないでください。
- 航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ悪影響を与えることがあります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

安全に正しくお使い頂くために

免責事項

- 修理、その他による原因で消去されてしまった録音内容、データについては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の故障、誤動作などの要因により生じた、録音の消失や無録音などにおいて発生した損害などの付随補償については、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の改良等のため、製品の仕様やデザインを予告無く変更することがあります。

著作権について

- 私的用途以外で、歌唱、あるいは演奏・公演などを無断で録音または録画したり、それらの音声や映像を複製したりするとは、法律などにより禁じられています。

録音についてのお願い

- 録り直しのできない録音をする場合は、必ず事前に録音テストを実施してください。また重要なデータは、必要に応じてパソコン等にコピーを保存しておいてください。

— 目次 —

1. 製品の特長	1
2. 製品各部の名称	2
3. 充電	3
パソコンで充電	3
USB 充電器で充電	4
4. 電源の ON/OFF	5
5. メインメニュー	6
6. 環境設定	7
現在時刻の設定	7
録音音質の設定	8
VOR 機能の設定	9
モニタリング機能の設定	10
バックライトの設定	11
メニュー言語の選択	12
自動電源 OFF 機能の設定	12
メモリ状態の確認	13
バージョン情報の確認	13
パスワードロックの設定	14
パスワードの入力	14
初期パスワード	15
パスワードの変更	15

— 目次 —

7. 録音	16
録音の開始	16
録音の一時停止	16
録音の停止	16
内蔵マイク録音	17
外部マイク録音	18
Line in 録音	19
固定電話録音	20
携帯電話録音	22
分割録音	23
予約録音	23
録音開始時刻の設定	24
録音時間の設定	25
8. 再生	26
録音の再生	26
音楽の再生	28
再生の一時停止	30
再生の停止	30
頭出し	30
早送り・巻き戻し	30
A-B リピート再生	30
音量調節	31
クイック録音	31
歌詞表示	32
9. 再生環境設定	33
再生モードの設定	33
再生速度の設定	34
イコライザの設定	35
10. ファイル削除	36
1 件削除	36
フォルダ内全件削除	37

— 目次 —

11. LED ライト	38
12. リセット	39
13. パソコン接続	40
機器の接続	40
録音ファイルの確認	42
データの転送	43
パソコンから取り外す	44
録音したファイルをパソコン上で再生する	44
14. 故障かな？と思ったら	45
15. 仕様	48
16. 付属品	49

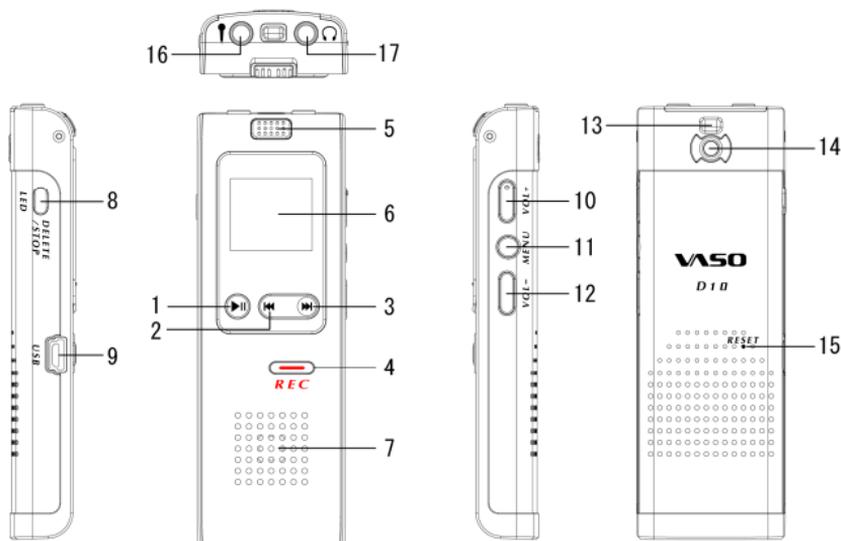
保証規定

保証書

1. 製品の特長

- 用途に応じて音質が選べる ⇒ **3タイプの録音モード**
- 無音状態を検知し、自動的に録音を一時停止 ⇒ **VOR機能**
- 設定した時刻に自動的に録音を開始 ⇒ **予約録音**
- 音楽の再生中でもすばやく録音 ⇒ **クイック録音**
- オーディオの音楽を録音 ⇒ **Line in録音**
- ミュージックプレイヤーとしても活躍 ⇒ **MP3、WMA再生対応**
- 暗い場所での非常灯代わりに ⇒ **LEDライト**
- 語学習得や、録音ファイルの聞き取りに便利 ⇒ **再生速度設定**
- USB接続でかんたん充電 ⇒ **内蔵リチウムイオンバッテリー**
- 本体操作をロックする ⇒ **パスワードロック機能**
- うっかり電源を切り忘れても安心 ⇒ **自動電源OFF機能**
- 途中で電池が切れても大丈夫 ⇒ **自動録音保存機能**
- 残り録音可能時間が確認できる ⇒ **録音時間表示**
- 暗いところでも操作OK ⇒ **液晶画面バックライト**
- 繰り返し確認したい箇所に ⇒ **A-Bリピート**
- ちょっと気になるその時に ⇒ **時計機能**

2. 製品各部の名称



1. 再生/一時停止ボタン
2. 巻き戻し/前選択ボタン
3. 早送り/次選択ボタン
4. 録音/一時停止/停止ボタン
5. 内蔵マイク
6. 液晶画面
7. スピーカー
8. 再生停止/削除/LED ボタン
9. USB 端子

10. 音量+ボタン
11. メニューボタン
12. 音量-ボタン
13. ストラップホール
14. LED ライト
15. リセットボタン
16. マイク/Line in 端子
17. イヤホン端子

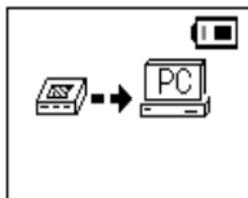
3. 充電

当製品は、内蔵リチウムイオンバッテリーを使用しています。お使い頂く前にはまず十分に充電を行ってください。

パソコンで充電

パソコンでバッテリーの充電を行うには、本製品の USB 端子とパソコンの USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。接続すると、自動的に充電が始まります。

充電中は、画面右上のバッテリー残量表示のアイコン[]のゲージが動きます。バッテリーの容量が満タンになると、アイコンのゲージが満タンの状態で止まります。



充電中の画面

⚠ 注意

パソコンの環境によっては、バッテリーが満タンになってもバッテリーアイコンのゲージが動いたままになっている場合もございます。

3. 充電

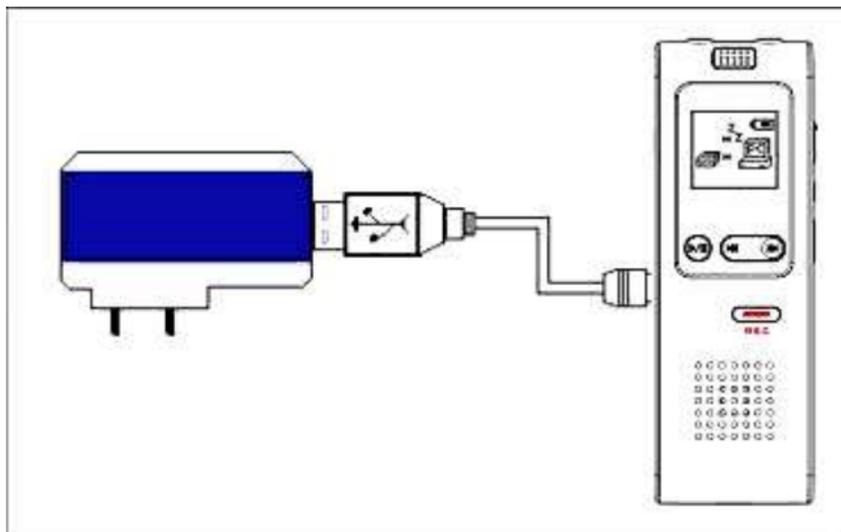
USB 充電器で充電

オプション品の USB 充電器を使ってバッテリーの充電を行うには、本製品の USB 端子と USB 充電器の USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。接続すると、自動的に充電が始まります。

充電中の状況は「パソコンで充電」した時と同じとなります。

⚠ 注意

市販の USB 充電器をお使いの場合は、画面の表示が異なることがあります。



4. 電源の ON/OFF

電源 ON

本体の電源が OFF の状態で、[▶] ボタンを約 2 秒間、長押しすると電源が ON になります。

⚠ 重要

【長押し】…約 2～3 秒間、ボタンを押し続ける操作になります。
当説明書では、長押しのボタン操作を行う場合のみ、長押しと記載しております。

⚠ 注意

パスワードロックが有効になっている場合は、電源が ON になった後、パスワード入力画面となります。

電源 OFF

本体の電源が ON の状態で、[▶] ボタンを長押しすると、画面に「BYE BYE」と表示された後、電源が OFF になります。

5. メインメニュー

本製品には、「音楽モード」、「録音モード」、「設定」の3つのメインメニューがあります。

スタンバイ状態(再生や録音をしていない状態)では、側面の[MENU ボタン]の長押しで、メインメニューの画面に戻ります。

また、各メニューでの基本操作として、[◀▶]ボタンを押すとファイルまたは項目の選択、[▶]ボタンを押すと決定の操作となります。

音楽モード

「音楽モード」では、MP3 と WMA 形式の音楽ファイルを再生できます。



「音楽モード」のアイコン

録音モード

「録音モード」では、本製品で録音した音声ファイルを再生できます。



「録音モード」のアイコン

設定

「設定」では、音質や VOR など、本製品の使用環境に関するいろいろな機能の設定をすることができます。



「設定」のアイコン

6. 環境設定

メインメニューの「設定」からは、本製品の使用環境に関するいろいろな機能の設定をすることができます。

現在時刻の設定

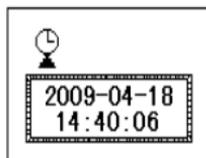
このメニューでは本製品の内部時計を設定することができます。内部時計は予約録音機能や録音ファイルの作成日時に連動します。

現在時刻の設定をするには、まず、メインメニューの「設定」から「時間設定」を選択・決定します。

次に、「現在時刻」を選択・決定し、現在時刻の設定画面に入ります。

現在時刻の設定画面では、側面の[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押して、年、月、日、時、分、秒から変更したい項目を選択します。

選択された数字は点滅しますので、[◀▶]ボタンを押して日付や時間を合わせ、最後に、[OK]ボタンを押して設定を完了してください。



現在時刻の設定画面

[2009-04-18] :現在の日付が「2009年4月18日」であることを示しています。

[14:40:06] :現在の時刻が「14時40分6秒」であることを示しています。

⚠ 注意

- 本製品は約3分間、何もボタン操作しなければ、自動的に時計表示画面となります。いずれかのボタンを押すと、時計表示となる前の画面に戻ります。
- 本製品の時計表示は使用していくにつれ、設定した時刻が少しずつずれてきてしまいます。時々、正しい時刻に設定しなおしてください。

6. 環境設定

録音音質の設定

このメニューでは録音音質を設定することができます。録音する音質は [LQ] ⇒ [SQ] ⇒ [HQ] の順に高音質になり、高音質になるほど、録音するのに多くのメモリが必要となるため、長時間の連続録音をする場合は低音質の録音が適しています。

録音音質を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「録音音質」を選択・決定し、録音音質の設定画面に入ります。

録音音質の設定画面では、[ ボタン]を押して、「LQ/SQ/HQ/Line in」からご希望の音質を選択し、最後に、[ ボタン]を押して設定を完了してください。

⚠ 重要

- 内蔵/外部マイクによる録音を行う際は、「LQ/SQ/HQ」のいずれかの音質を選択してください。
- Line in 録音を行う際は、「Line in」を選択してください。

● 録音可能時間の目安

録音音質	1GB タイプ	2GB タイプ	4GB タイプ
LQ (32kbps)	約 67 時間	約 136 時間	約 281 時間
SQ (64kbps)	約 33 時間	約 66 時間	約 136 時間
HQ (128kbps)	約 16 時間	約 32 時間	約 68 時間
Line in (128kbps)	約 16 時間	約 32 時間	約 68 時間

※表の値は理論値による目安です。実際の録音時間とは誤差が生じることがございます。

6. 環境設定

VOR 機能の設定

VOR 機能とは録音中に録音する音声が無い状態に自動的に録音を一時停止して無駄な録音を防ぐ機能です。VOR 機能を ON にすると、録音中に一定以上の音量を感知できない状態が一定時間継続すると自動的に録音を一時停止し、再度一定以上の音量を感知すると自動的に録音を再開します。

VOR 機能を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「VOR 設定」を選択・決定し、VOR 機能の設定画面に入ります。

VOR 機能の設定画面では、[ ボタン]を押して「ON」または「OFF」を選択し、最後に、[ ボタン]を押して設定を完了してください。



VOR 機能が有効時の録音画面

6. 環境設定

モニタリング機能の設定

モニタリング機能とは、Line in 録音を行う際に、音声は正常に録音されているかを確認するための機能です。モニタリング機能を ON にすると、Line in 録音を行う際に、イヤホンを使って録音中の音声をリアルタイムで聴くことができます。

モニタリング機能を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「モニタリング設定」を選択・決定し、モニタリング機能の設定画面に入ります。

モニタリング機能の設定画面では、[ ボタン]を押して「ON」または「OFF」を選択し、最後に、[ ボタン]を押して設定を完了してください。

⚠ 注意

モニタリング機能は Line in 録音の場合にのみ使うことができ、他の録音のタイプでは使うことができませんので、モニタリング機能を使用するには、予め、録音音質を「Line in」に設定しておく必要があります。

6. 環境設定

バックライトの設定

このメニューではボタン操作をした後、バックライトが消えるまでの時間を設定することができます。

バックライトを設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「バックライト設定」を選択・決定し、バックライトの設定画面に入ります。

バックライトの設定画面では、[]ボタンを押して、バックライトを点灯させる時間を選択し、最後に、[]ボタンを押すと設定が完了します。なお、設定時間は、0 秒～30 秒の間で、3 秒刻みで選択できます。「0」に設定したときは、バックライトは常に点灯しません。



バックライトの設定画面

最後にボタン操作をしてから、約 15 秒間バックライトが点灯する事を示しています。

6. 環境設定

メニュー言語の選択

本製品が表示するメニューの言語を日本語、英語、簡体中国語、繁体中国語から選択することができます。

メニュー言語を選択するには、まず、メインメニューの「設定」から「言語選択」を選択・決定し、言語選択の選択画面に入ります。

言語選択の選択画面では、[] ボタンを押して、「日本語/英語/簡体中国語/繁体中国語」からご希望の言語を選択し、最後に、[] ボタンを押して選択を完了してください。

自動電源 OFF 機能の設定

自動電源 OFF 機能とは、本体のボタン操作が無いときに、自動的に電源を切ってバッテリーの消費を節約する機能です。自動電源 OFF 機能を有効にすると、本体がスタンバイ状態のとき、約 2 分間、何もボタン操作をしないと、本体の電源が自動的に OFF になります。

自動電源 OFF 機能を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「自動電源 OFF 機能」を選択・決定し、自動電源 OFF 機能の設定画面に入ります。

自動電源 OFF 機能の設定画面では、[] ボタンを押して「有効」または「無効」を選択し、最後に、[] ボタンを押して設定を完了してください。

なお、自動電源 OFF 機能を有効にしても、録音中や再生中の場合は、自動電源 OFF になることはありません。

6. 環境設定

メモリ状態の確認

メインメニューの「設定」のから「メモリ状態」を選択・決定すると、画面上に内蔵メモリの現在の使用状況の目安が表示されます。

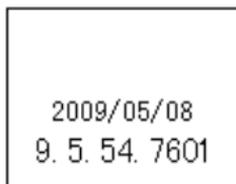


メモリ状態の確認画面

内蔵メモリの容量が 924MB であり、現在その内、約 2% (924MB × 2%=約 18.48MB) を使用していることを示しています。

バージョン情報の確認

メインメニューの「設定」から「バージョン情報」を選択・決定すると、画面上に現在のソフトウェアのバージョン情報が表示されます。



バージョン情報の確認画面

6. 環境設定

パスワードロックの設定

パスワードロックの設定が有効になっていれば、他人からの本製品へのアクセスを防ぐことができます。正しいパスワードを入力しない限り、本製品の操作及びパソコンへの接続をすることができません。

パスワードロックを設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「パスワードロック」を選択・決定し、パスワードロックの設定画面に入ります。

パスワードロックの設定画面では、[◀▶]ボタンを押して「有効」または「無効」を選択し、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。

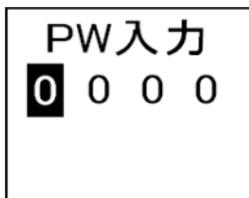
パスワードの入力

パスワードロックを有効にすると、本製品の電源起動時、またはパソコン接続時にパスワードの入力が必要となります。パスワードを正しく入力しないと、本体の操作やパソコンへの接続ができません。

パスワードの入力画面で、パスワードを入力するには、まず、側面の[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押して、パスワードを入力する桁を選択してください。選択された桁の数字は白抜き文字で表示されます。

次に、[◀▶]ボタンを押して正しい数字を入力し、4桁全ての数字を入力したら、[▶]ボタンを押して入力を完了してください。

なお、パスワード入力を3回続けて間違えた場合は、本製品の電源は自動的にOFFになります。



パスワードの入力画面

6. 環境設定

初期パスワード

本製品の工場出荷時の初期パスワードは「0000」です。

パスワードの変更

パスワードロックのパスワードは任意の4桁の数字に変更することができます。

⚠ 注意

- 変更したパスワードを忘れてしまうと本製品の操作ができなくなり、製品内のデータを使用できなくなるため、パスワードは必ずメモに記録するなどして大切に保管してください。
- 万が一、パスワードを他人に知られたり、解かれたりした場合、その損害については、当社は一切の責任を負いません。
- 万が一、変更したパスワードを忘れたときは、当社サポートへご相談ください。

パスワードを変更するには、まず、メインメニューの「設定」から「パスワード変更」を選択・決定し、パスワード変更の画面に入ります。

パスワード変更の画面では、「PW 入力」と表示されますので、まずは上記「パスワードの入力」と同じ要領で、現在設定されているパスワードを正しく入力し、**[OK]**ボタンを押してください。もし、間違ったパスワードを入力した場合は、画面に「PW エラー」と表示され、もう一度パスワードの入力画面に戻ります。

正しいパスワードが入力されたら、画面に「新しい PW」と表示されますので、新しいパスワードを入力し、**[OK]**ボタンを押してください。画面に「変更完了」と表示されたら、パスワードは正常に変更されています。

7. 録音

録音の開始

スタンバイ状態で[ ボタン]を押すと、録音が始まります。

重要

- 【スタンバイ状態】…電源は ON になっているが、録音や再生等がされていない待機状態のこと。
- [ ボタン]を押した後、実際に録音が始まるまでは約3秒かかりますので、録音を開始したいタイミングより少し早めに録音ボタンを押してください。

録音の一時停止

録音中に[ ボタン]を押すと、録音が一時停止し、再度[ ボタン]を押すと、録音が再開されます。なお、録音の一時停止中は、画面の録音経過時間の進行が止まり、表示が点滅します。



録音一時停止の画面

録音の停止

録音中に[ ボタン]を長押しすると録音が停止し、録音ファイルが保存されます。

注意

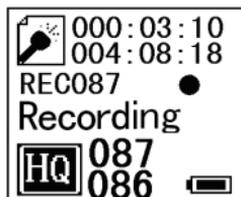
録音時間が1秒未満の場合はファイルを保存することができません。

7. 録音

内蔵マイク録音

内蔵マイク録音は、本体の内蔵マイクで録音する方法です。

まず、「録音音質の設定」で録音したい音質を「LQ/SQ/HQ」のいずれかに設定してから録音を行ってください。



録音中の画面の例

	マイクで録音中であることを示しています。
000:03:10	録音経過時間が3分10秒であることを示しています。
004:08:18	残りの録音可能時間が4時間8分18秒であることを示しています。
REC087	録音中の録音ファイル名が「REC087」であることを示しています。
RECORDING	録音中であることを示しています。
	HQの音質で録音していることを示しています。
087	録音しているファイルのシリアルナンバーが87であることを示しています。
086	選択しているフォルダに保存されているファイル数が86であることを示しています。
	充電機の残量が十分であることを示しています。

7. 録音

外部マイク録音

外部マイク録音は、市販やオプション品の外部マイクで録音する方法です。

まず、「録音音質の設定」で録音したい音質を「LQ/SQ/HQ」のいずれかに設定してください。

あとは、外部マイクを本体の[マイク端子](マイク/Line in端子)に接続した状態で録音を開始すると、特別な設定をしなくても自動的に外部マイク録音となります。



⚠ 注意

本製品は製品仕様上、ステレオタイプの外付けマイクを使用して録音しても、ステレオ録音とはなりません。

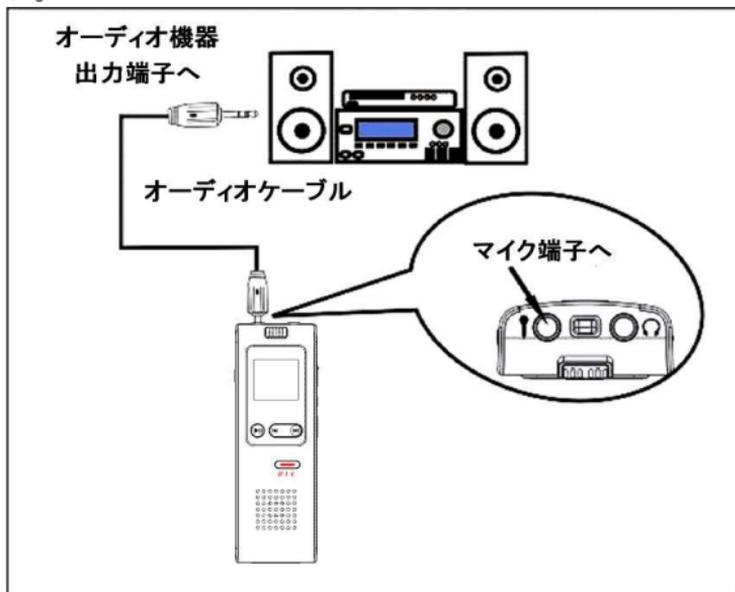
7. 録音

Line in 録音

Line in 録音は、オーディオ機器などの音楽を、オーディオケーブルを使って録音する方法です。

まず、「録音音質の設定」で、「Line in」に設定してください。

あとは、本体の[マイク端子]（マイク/Line in 端子）とオーディオ機器の出力端子をオプション品のオーディオケーブルで接続して録音を行ってください。



⚠ 注意

- オーディオ機器からちょうどいい音量で録音するために、予め録音テストをお勧めします。
- Line in 録音で録音されたファイルは、本体の HQ フォルダに保存されます。また、そのファイル名は「LINE001、LINE002・・・」となります。

7. 録音

固定電話録音

固定電話録音は、オプション品の電話録音アダプターとモジュラーコードを使用して、家庭用の固定電話の通話を録音する方法です。

まず、本体の「録音音質の設定」で、「Line in」に設定してください。

次に、電話機本体からモジュラーコードごと受話器を取り外し、取り外した電話機本体のモジュラージャックにオプション品のモジュラーコードの一端(小さい方)を差し込みます。

⚠ 注意

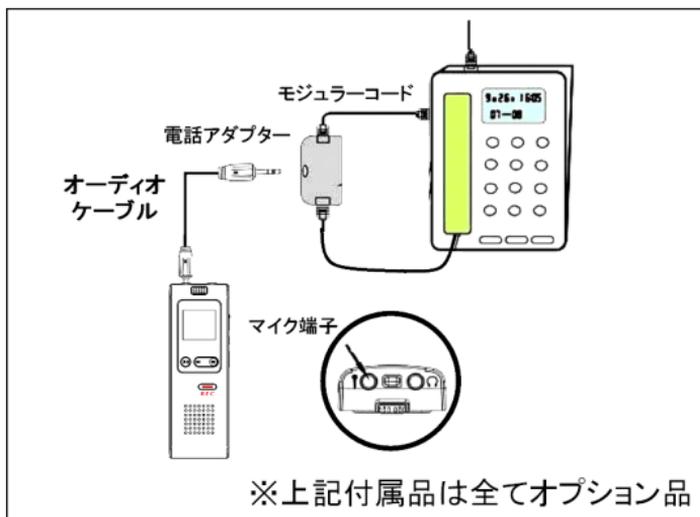
モジュラーコードの両端は大きさに違いがありますのでご注意ください

次に、そのモジュラーコードの反対側の一端(大きい方)をオプション品の電話録音アダプターの[LINe]側のジャックに差し込みます。

次に、受話器と繋がっているモジュラーコードのもう一端を電話アダプターの[HANDSET]側のジャックに差し込みます。

最後に、オプション品のオーディオケーブルで、電話アダプターと本体の[📍端子](マイク/Line in 端子)を接続して録音を行ってください。

7. 録音



⚠ 注意

- オプション品の電話録音アダプターは一般の固定電話機にのみ対応しております。ビジネスフォンなどのデジタル回線にはご使用できませんのでご注意ください。
- 一般の固定電話機であっても、お使いの電話機によっては通話音声鮮明に録音できない場合がございます。
- 通話の録音ができるのは電話機本体の受話器を使用して通話した場合に限ります。ワイヤレスの子機の受話器などを使用した場合は通話の録音できませんのでご注意ください。

7. 録音

携帯電話録音

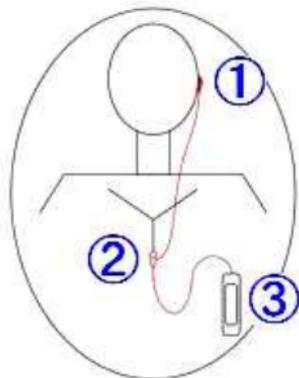
携帯電話録音は、オプション品の携帯電話録音用マイクを使用して、携帯電話の通話を録音する方法です。

まず、「録音音質の設定」で録音したい音質を「LQ/SQ/HQ」のいずれかに設定してから録音を行ってください。

次に、携帯電話録音用マイクのイヤホン型マイクを耳にはめてください。このマイクで相手の話す声を録音しますので、電話をする際は、イヤホン型マイクをはめた側の耳に受話器をあてて、通話をしてください。

次に、携帯電話録音用マイクのピンマイクをクリップで服の胸元の位置に付けてください。このマイクでご自分の話す声を録音します。

最後に、携帯電話録音用マイクの端子をICレコーダー本体の[マイク/Line in 端子]に接続して録音を行ってください。



⚠ 注意

ご自分の声が程良い大きさと録音されるように、あらかじめちょうど良いマイク位置をお試しください。

7. 録音

分割録音

分割録音は、録音ファイルを分割して保存しながら録音を続けることができる機能で、「録音の停止」⇒「録音の開始」という一連の動作がボタン一押しでできる機能です。

分割録音をするには、録音中に、[ ボタン]の[ ボタン]を押します。すると、その時点までの録音を1つのファイルとして保存したあと、自動的に新しいファイルとして、録音を再開します。

[ ボタン]を長押しすると録音が完全に停止し、録音ファイルが保存されます。

⚠ 注意

- [] ボタンを押した後、実際に録音が始まるまでは約 3 秒かかります。
- 録音時間が 1 秒未満の場合はファイルを保存することができません。

予約録音

予約録音とは、次の「録音開始」と「録音時間」を設定しておくことで、「録音開始」で設定した開始時刻になると自動的に録音を開始し、「録音時間」で設定した長さになれば自動的に録音を終了し、ファイルを保存する機能です。

⚠ 重要

予約録音が動作するには、本体の電源が ON になっている必要があります。本製品の電源が OFF になっている場合は、予約録音が動作しません。予約録音をする際は、必ず「自動電源 OFF 機能」は「無効」にしておいてください。

7. 録音

録音開始時刻の設定

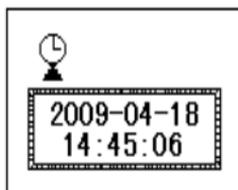
予約録音の録音開始時刻は、本体の内部時計に依存しますので、予め、「現在時刻の設定」を正しく行ってください

録音開始時刻を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「時間設定」を選択・決定します。

次に、「録音開始」を選択・決定し、録音開始時刻の設定画面に入ります。

録音開始時刻の設定画面では、側面の[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押して、年、月、日、時、分、秒から変更したい項目を選択します。

選択された数字は点滅しますので、[◀▶]ボタンを押して日付や時間を合わせ、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。



録音開始時刻の設定画面

[2009-04-18] : 録音が始まる日付が「2009年4月18日」であることを示しています。

[14:40:06] : 録音が始まる時刻が「14時40分6秒」であることを示しています。

7. 録音

録音時間の設定

録音時間を設定するには、まず、メインメニューの「設定」から「時間設定」を選択・決定します。

次に、「録音時間」を選択・決定し、録音時間の設定画面に入ります。録音時間の設定画面では、録音時間(分単位)は4桁の数字で表示されますので、側面の[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押して、設定したい桁を選択します。

選択された数字は点滅しますので、[◀▶]ボタンを押して、録音したい長さを分単位で設定し、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。

なお、録音時間は1～9999分間の範囲で設定できます。

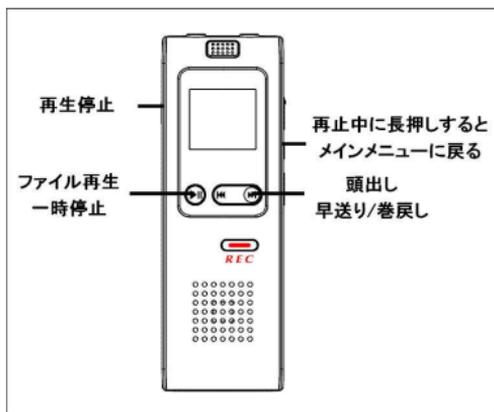


録音時間の設定画面

0012 MIN : 予約録音の時間が12分間であることを示しています

8. 再生

本製品で録音したファイルは「録音モード」から再生します。
パソコンからコピーした音楽ファイルは「音楽モード」から再生します。それぞれの再生モードはメインメニューから選択できます。



録音の再生

本製品で録音された音声ファイルは録音モードから再生できます。
録音モードでは、ファイルが停止または一時停止中に側面の[MENU ボタン]を押すことで、「LQ/SQ/HQ」の各音質フォルダに切り替えることができます。

録音の再生をするには、まず、メインメニューから「録音モード」を選択・決定し、録音モードに入ります。

録音モードでは、まず、再生したい録音の音質(フォルダ)を選択します。例えば、SQ の音質で録音したファイルは SQ のフォルダに保存されていますので、画面左下に「SQ」と表示されるまで、側面の[MENU ボタン]を数回押します。なお、Line in 録音で録音したファイルは HQ のフォルダに保存されています。

フォルダが選択できたら、[MENU ボタン]を押して、再生したいファイルを選択し、最後に[▶ ボタン]を押すと選択したファイルの再生が始まります。

8. 再生



再生中の画面

一時停止中の画面

停止中の画面

	録音モードであることを示しています。
000:03:10	3分10秒のところを再生中であることを示しています。
RECO07	選択しているファイルの名前が「RECO07」であることを示しています。
000:38:18	選択しているファイルの長さが、38分18秒であることを示しています。
	選択している音質(フォルダ)が HQ であることを示しています。
086	選択しているフォルダに、86ファイルが保存されていることを示しています。
	再生モードが一曲リピートであることを示しています。
	再生音量が 20 であることを示しています。
	充電電池の残量が十分であることを示しています。

8. 再生

音楽の再生

パソコンからコピーした音楽ファイルは音楽モードから再生できます。音楽モードで再生できる音楽ファイルはMP3とWMA形式の音楽ファイルです。

音楽ファイルを再生するには、まず、本製品をパソコンに接続し、パソコン上の音楽ファイルを本製品の「mp3」フォルダの直下へコピーしてください。

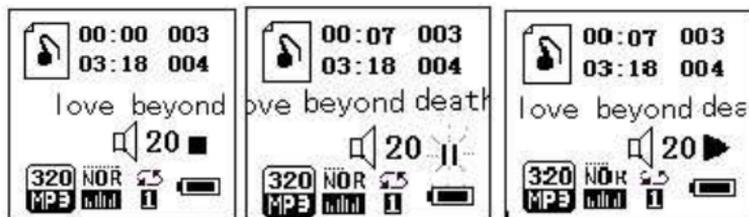
次に、メインメニューから「音楽モード」を選択・決定し、音楽モードに入ります。

音楽モードでは、[◀▶]ボタンを押して、再生したいファイルを選択し、最後に[▶]ボタンを押すと選択したファイルの再生が始まります。

⚠ 注意

「mp3」フォルダに音楽ファイルをフォルダごとコピーすると、本製品は音楽ファイルを認識できませんので、再生したい音楽ファイルは必ず、「mp3」フォルダの直下にコピーしてください。

8. 再生



再生中の画面

一時停止中の画面

停止中の画面

	音楽モードであることを示しています。
00 : 07	7 秒のところを再生中であることを示しています。
003	選択しているファイルの番号が 3 であることを示しています。
03 : 18	選択しているファイルの長さが、3 分 18 秒であることを示しています。
004	音楽モードで再生できるファイルの総数が 4 ファイルであることを示しています。
	選択されているファイルが、MP3 形式 (320kbps) であることを示しています。
	イコライザ設定がノーマルであることを示しています。
	再生モードが一曲リピートであることを示しています。
 20	再生音量が 20 であることを示しています。
	充電電池の残量が十分であることを示しています。

8. 再生

再生の一時停止

再生中に[⏸ ボタン]を押すと、再生が一時停止し、再度[▶ ボタン]を押すと再生が再開されます。

再生の停止

再生中に側面の[STOP ボタン]を押すと、再生が停止します。

頭出し

再生中、または再生停止中に[⏮ ボタン]を押すと、一つ前、または次のファイルを選択することができます。

早送り/巻き戻し

再生中に[⏭ ボタン]を押し続けると、現在再生中のファイルを早送り、または巻き戻しさせることができます。

A-B リピート再生

再生中に[🔴 ボタン]を押すと、リピートの開始点となる A が設定され、画面に B の文字が点滅します。

続いて[🔴 ボタン]を押すと終了点となる B が設定され、自動的に A-B 間でリピート再生が始まります。

A-B リピート再生は、5 回リピート再生されると自動的に再生が終わり、通常再生に戻ります。なお、途中で A-B リピート再生を解除したい時は、[🔴 ボタン]を押してください。

8. 再生

音量調節

再生中に側面の[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押すと、再生音量を「0～31」の範囲で増減させることができます。音量は「0」が無音で、数値が大きくなるほど、大音量となります。

なお、音量調節の際、[VOL+ボタン]または[VOL-ボタン]を押し続けることで、音量を連続して増減させることができます。

⚠ 注意

音量調節は再生中にのみ操作可能です。停止時や一時停止時には操作できませんのでご注意ください。

クイック録音

再生中または再生の一時停止中に、 ボタンを長押しすると、再生状態から録音状態へ直接切り替えることができます。

8. 再生

歌詞表示

本製品は LRC 形式の歌詞ファイルの表示に対応しています。

本製品に、現在再生している音楽ファイルに対応する LRC 形式の歌詞ファイルが保存されていれば、画面左上の音符のアイコンの右下隅に「T」の文字が表示されます。

音楽モードで音楽ファイルの再生中に側面の[MENU ボタン]を長押しすると、歌詞表示画面 に入り、再生中の曲の歌詞を見ることができます。歌詞表示を止めたいときは、再度[MENU ボタン]を押すと、元の音楽再生画面に戻ります。

なお、LRC 形式の歌詞ファイルはご自身で作成・用意してください。



通常の音楽再生の場合



歌詞ファイルがある音楽再生の場合

⚠ 注意

音楽ファイルとそれに対応する歌詞ファイルのファイル名は、拡張子以外は同じにする必要があります。

また、その関連する2つのファイルは、同じ「mp3」フォルダの直下に保存する必要があります。

9. 再生環境設定

ファイルの再生中に側面の[MENU ボタン]を押すと、「録音モード」では、「再生モード」と「再生速度」を、「音楽モード」では、「再生モード」、「イコライザ」、「再生速度」を設定することができます。

⚠ 注意

再生環境設定は再生中のみ操作可能です。再生の停止時や一時停止時には操作できませんのでご注意ください。

再生モードの設定

再生モードを設定するには、まず、ファイルの再生中に側面の[MENU ボタン]を押して、再生環境の設定画面に入ります。

次に、「再生モード」を選択・決定し、再生モードの設定画面に入ります。

再生モードの設定画面では、[◀▶]ボタンを押して、下記の5タイプから一つを選択し、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。

アイコン	表示名	内容
	単リPEAT	1つのファイルを繰り返し再生します。
	通常再生	1つのファイルを1回だけ再生します。
	全リPEAT	フォルダ内の全てのファイルを繰り返し再生します。
	ランダム	フォルダ内のファイルをランダムに再生します。
	イントロ	フォルダ内の全てのファイルを初めの 10 秒だけ再生します。

9. 再生環境設定

再生速度の設定

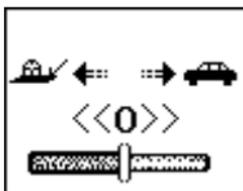
再生速度を設定するには、まず、ファイルの再生中に側面の[MENU ボタン]を押して、再生環境の設定画面に入ります。

次に、「再生速度」を選択・決定し、再生速度の設定画面に入ります。

再生速度の設定画面では、[◀▶]ボタンを押して、再生速度を「-8~8」

から選択し、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。

なお、再生速度は「-8」が最も遅く、「8」が最も早くなります。「0」が通常の再生速度になります。



再生速度の設定画面

⚠ 注意

再生速度が設定できるのは、本製品で録音したファイルおよび MP3 ファイルのみとなります。WMA ファイルの再生時には、設定できませんのでご注意ください

9. 再生環境設定

イコライザの設定

イコライザは、「音楽モード」でのファイルの再生中に設定することができます。

イコライザを設定するには、まず、ファイルの再生中に側面の[MENU ボタン]を押して、再生環境の設定画面に入ります。

次に、「イコライザ」を選択・決定し、イコライザの設定画面に入ります。

イコライザの設定画面では、[◀▶]ボタンを押して、下記の7タイプから一つを選択し、最後に、[▶]ボタンを押して設定を完了してください。

アイコン	表示名
	ノーマル
	ロック
	ポップス
	クラシック
	ソフト
	ジャズ
	DDB

⚠ 注意

録音モードでの再生にはイコライザの設定はありません。

10. ファイル削除

1 件削除

1件のファイルを削除するには、まず、「録音モード」もしくは「音楽モード」から削除したいファイルを選択します。

次に、そのファイルの再生が停止している状態で側面の[DELETE ボタン]を押します。

「1件削除」と確認画面が表示されますので、[ ボタン]を押して、「YES」または「NO」を選択してください。

削除を実行する場合は、「YES」を選択した状態で側面の[DELETE ボタン]を押してください。

削除をキャンセルする場合は、「NO」を選択した状態で側面の[DELETE ボタン]を押してください。



ファイル削除の確認画面

⚠ 注意

- 一度削除されたファイルは、復元させることはできません。選択されているファイルをよく確認してから、慎重に削除を実行してください。
- 複数のファイルを削除した後、次に新しいファイルを録音した際にできるファイルのファイル番号(ファイル名)は、削除された録音ファイルの番号(欠番)のうち、最小の番号となりますので、必要なファイルを選択したり探したりする際は、ファイルの番号に注意してください。

10. ファイル削除

フォルダ内全件削除

フォルダ内全てのファイルを削除するには、まず、「録音モード」の削除したいフォルダ(LQ/SQ/HQ)、もしくは「音楽モード」を選択します。

次に、再生が停止している状態で、[ ボタン] と側面の [DELETE ボタン] を同時に押します。

「全部削除」と確認画面が表示されますので、[ ボタン] を押して、「YES」または「NO」を選択してください。

削除を実行する場合は、「YES」を選択した状態で側面の [DELETE ボタン] を押してください。

削除をキャンセルする場合は、「NO」を選択した状態で側面の [DELETE ボタン] を押してください。



全ファイル削除の画面

⚠ 注意

- 一度削除されたファイルは、復元させることはできません。選択されているファイルをよく確認してから、慎重に削除を実行してください。
- 全件削除は、選択されている音質フォルダ内の全件削除となります。他の音質フォルダのファイルは削除されません。
- 本製品での再生に対応していないファイルは、この操作では削除できません。削除する場合は、パソコンと接続して、パソコンから削除してください。

11. LED ライト

LED ライト

本製品の背面には LED ライトが搭載されており、暗い場所での非常灯の代わりなどに使用できます。

LED ライトを ON/OFF するには、まず、メインメニューの「設定」から「LED ライト ON/OFF」を選択・決定し、LED ライト ON/OFF の設定画面に入ります。

LED ライト ON/OFF の設定画面では、[◀▶] ボタンを押して「ON」または「OFF」を選択し、最後に、[▶] ボタンを押して設定を完了してください。

クイックライト

メインメニューの「設定」から操作しなくても、素早く LED ライトの ON/OFF ができます。

スタンバイ状態または録音中に側面の [LED ボタン] を長押しすると LED ライトが点灯し、再度 [LED ボタン] を長押しすると消灯します。

⚠ 注意

ファイルの再生中は、この操作が出来ません。

12. リセット

リセット

本製品は、頻繁なボタン操作や誤った操作などによって、動作が正常でなくなったり、反応しなくなったりする場合があります。

その際は、ピンなどの先の細いものを使って背面の[RESET ボタン]を押してください。

[RESET ボタン]を押すと、プログラムがリセットされ、本製品は自動的に電源 OFF とな、再び本製品の電源を ON にすると、動作が改善されます。

注意

不具合の症状によっては、リセット操作で改善できない場合もございます。

13. パソコン接続

本製品は大容量記憶装置 (MassStorageClass) ドライバに対応しており、対応 OS (Windows 2000/XP/Vista/7) がインストールされたパソコンと付属の USB ケーブルを接続することにより、自動的に USB 大容量記憶装置デバイスとして認識されます。

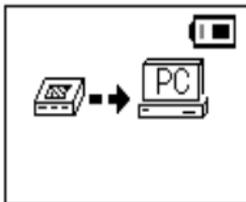
USB 大容量記憶装置デバイスとして認識された後は、一般のリムーバブルディスクとして Windows(R) のエクスプローラーによるファイルのドラッグ & ドロップなどの操作によってファイルのコピー、削除、移動を行うことができます。

⚠ 注意

パソコンの OS のバージョンやメーカーにより、お客様のパソコンの表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。(説明で使用する画面は Windows XP となります)

機器の接続

付属の USB ケーブルで、側面の [USB 端子] とパソコンの USB 端子を直接接続すると、自動的に必要なドライバがインストールされ、本製品がリムーバブルディスクとしてパソコンの OS に認識されます。接続の準備が完了すると、パソコン接続画面になります。



パソコン接続画面

13. パソコン接続



⚠ 注意

- パスワードロックを ON にしていると、パソコンと接続するときパスワード認証が必要です。正しいパスワードを入力しないとパソコンと接続することができませんのでご注意ください。
- 本製品とパソコンは必ず直接 USB ケーブルで接続してください。USB ハブなどの中継機器を経由して間接的に接続する場合は正常に動作できない場合がございます。
- データ破損の原因となりますので、接続の準備中またはデータの転送中は絶対に USB ケーブルを外したり、接続を解除したりしないでください。
- 対応するパソコンの OS 以外の OS、および自作パソコンでの動作保証はございません。

13. パソコン接続

録音ファイルの確認

本製品がパソコンの OS にリムーバブルディスクとして認識されると、パソコン内のファイルを見るように、本製品に録音されているファイルをパソコン上から確認することができます。

録音されているファイルはリムーバブルディスク内の「LQ/SQ/HQ」の各フォルダに保存されています。

「LQ/SQ/HQ」の各フォルダは本製品の録音モードにおける「LQ/SQ/HQ」の各録音フォルダにリンクしています。つまり、本製品においてHQフォルダに録音したファイルは、パソコン上でもHQフォルダ内に存在します。

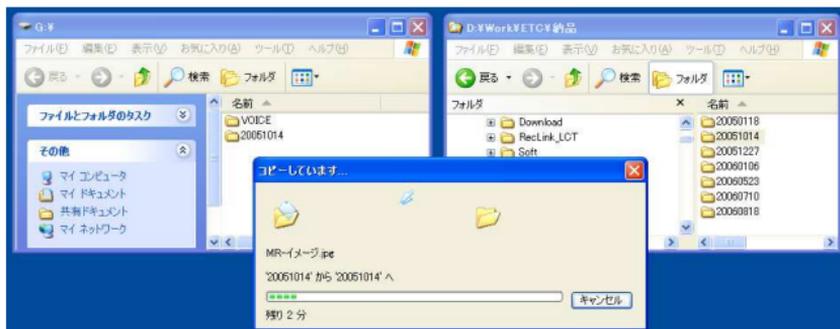


13. パソコン接続

データの転送

本製品ではパソコンとのデータ転送においては特別なマネージャソフトを必要としないため、ファイル操作はパソコン内のファイルを操作するように、Windows(R)のエクスプローラーからドラッグ & ドロップなどの操作で簡単に行うことができます。

なお、録音ファイルの他、Excel(R)や Word(R)などの一般的な任意のデータも転送することが可能ですが、本製品の動作に影響しますので、既存のフォルダ(LQ/SQ/HQ)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。



⚠ 注意

- 本製品の動作に影響しますので、既存のフォルダ(LQ/SQ/HQ)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。
- データ破損の原因となりますので、データの転送中は絶対に USB ケーブルを外したり、接続を解除したりしないでください。

13. パソコン接続

パソコンから取り外す

本製品をパソコンから取り外すときは、データ転送をしていない状態で、**[▶]ボタン**を軽く1回押すか、一般のUSBメモリと同じように、必ずパソコン上でアンマウント(ハードウェアの安全な取り外し)操作を実行した後に取り外してください。パソコンとの接続が解除されると、スタンバイ状態へ戻ります。

録音したファイルをパソコン上で再生する

本製品で録音した音声ファイルは汎用的なMP3フォーマットのため、パソコン上の音楽ファイルのようにWindows Media Player(R)などの一般的なアプリケーションから再生することができます。

▲ ワンポイント

- MP3の拡張子が適切なアプリケーションに関連付けられている場合は、録音ファイルをダブルクリックすることで録音ファイルを再生することができます。
- Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

14. 故障かな？と思ったら

- 電源をONにした時、液晶画面が完全に表示されない。または電源がつかない。

これは、頻繁なボタン操作や誤った操作によって、プログラムエラーが発生している可能性があります。これらの現象はフォーマットをすることで回復する場合がありますが、フォーマットをすると本製品内の全てのファイルが削除されてしまいます。フォーマットをする前に、必要なファイルはパソコンに保存しておいてください。

- 電源をONにした時、ボタン操作が反応しない。

電源をONにした後、本製品が完全に動作するまで約3秒必要です。完全に起動するまでしばらくお待ちください。

- 数秒で電源がOFFになってしまう。

充電が不足している可能性があります。充電後、再度お試しください。

- バッテリーの持続時間が短い。

フル充電した後の充電時間は、約9時間持続します。(録音、またはイヤホン使用時の音楽再生の場合)

なお、本製品を長い期間使うと、バッテリーの持続時間はだんだん短くなります。また、もし長い間本製品を使わなかった時は、使用前にフル充電してください。

- 再生しても音声が聞こえない。

音量が小さくなっている可能性があります。音量を大きくしてください。または、再生しているファイル自体の音が小さい可能性があります。

- メモリの空き容量が少なくなっている。

長い期間使用していると、メモリ内に多くのファイルの断片ができてしまいます。パソコンに接続して必要なファイルを保存した後フォーマットをすることで、メモリは解放されます。

14. 故障かな？と思ったら

●総メモリ容量の表示が、実際のメモリ容量と違う。

プログラムやフォント情報などを保存しておくために、いくらかのメモリ容量が必要となります。従いまして、通常、表示されているメモリ容量は、実際のメモリ容量よりも小さくなります。

●時々、パソコンとの接続が受け付けられなかったり、中断されたりする。

主に、パソコンとのデータのやり取り中にUSB接続を切断した場合に発生します。これらの異常を避けるために、データ転送やフォーマットの途中では、絶対に本製品をパソコンから切断しないようにしてください。

●MP3の音楽ファイルが正常に再生されない。または、本製品の電源がONにならない。

厳密に言うと、MP3は「MPEG I Layer3」規格によって圧縮された音楽ファイルで、現在、多くのMP3音楽はこのフォーマットです。

互換性の無いMP3形式の音楽ファイルを再生しようとしても、再生できなったり動作エラーが発生したりする時があります。その場合、パソコンから互換性の無い音楽ファイルを削除することで、本製品は正常に操作できるようになります。

●[REC]ボタンを押しても録音が始まらない。または録音我突然止まってしまう。

本製品の空き容量が無くなっている可能性があります。ファイルをいくつか削除するか、パソコンにファイルを移動するなどして、本製品の空き容量を増やしてください。

14. 故障かな？と思ったら

- **容量の大きな録音ファイルを選択した時、本製品の反応が遅くなる。**
容量の大きな録音ファイルを選択すると、その録音ファイルを認知するまでに少し時間が掛かります。例えば、容量が200MBの録音ファイルを認知するには、約10秒必要になります。より大きなファイルになると、認知するまでの時間がより長くなります。
- **パソコンに正常に接続できない。**
USB ケーブルが、正しく接続されていない可能性があります。USB ケーブルの状態を再度ご確認ください。
また、パスワードロック機能を有効にしている場合、入力したパスワードが間違っているとパソコンに接続できません。

15. 仕様

最大録音ファイル数	各音質(HQ、SQ、LQ)ごとに 99 ファイル
スピーカー最大出力	200mW (16Ω)
内蔵マイク	モノラルコンデンサマイク
サイズ	約 94×32×14mm
質量	約 36g
録音形式	MP3
動作環境	0°C～40°C
電源	内蔵リチウムイオンバッテリー
充電方法	USB 充電
周波数特性	LQ:100Hz～7,000Hz SQ:100Hz～8,000Hz HQ:100Hz～12,000Hz
音楽再生フォーマット	MP3(MPEG1/2/2.5 AUDIO LAYER 3)/WMA
再生可能レート	WMA:32～192Kbps、MP3:8～320Kbps
電池持続時間	約 9 時間(録音またはイヤホンで再生した場合)
充電時間	約 3 時間(USB 充電器使用時)
対応 OS	Windows 2000/XP/Vista/7
端子	イヤホン(直径 3.5mm)、マイク/Line in(直径 3.5mm)、USB
データ転送速度	USB 2.0

※1 使用環境等によって異なりますので、各数値は目安となります。

※2 本仕様、及びデザインは、製品の性能向上のため、予告無しに変更することがございます。

16. 付属品

標準付属品

- 取扱説明書・保証書(本書)
- イヤホン
- USB ケーブル
- ポーチ

オプション付属品

- USB 充電器
- 高感度マイク
- 高感度マイク用カバー
- 携帯電話録音用マイク
- ピンマイク
- オーディオケーブル
- 電話録音アダプター
- モジュラーコード

保証規定

1. 保証期間中に取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償保証をさせていただきます。
2. 保証期間中の無償保証はサポートID登録をされた方に対して有効です。商品ご購入後30日以内に下記 URL よりサポート ID 登録を行ってください。それ以外の方は商品ご購入日より30日保証とさせていただきます。

<http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

3. この保証書は、本製品の直接購入者に限って適用されるものであり、他人に譲渡することはできません。また個人取引などで購入された商品は保証の対象外となります。
4. この保証書は、本製品が組み込まれるユーザー側のコンピュータ、ハードウェア、その他の関連システム構成などに起因する何らかの互換性を保証するものではありません。
5. 次の各項のいずれかに該当する場合、保証期間中でも保証の責任を負わないものとします。
 - ◎保証書のご提示がない場合
 - ◎保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のない場合
 - ◎お客様によるお買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障
 - ◎火災、地震、水害、落雷、その他の天災事変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ◎接続しているほかの機器に起因して生じた故障及び損傷
 - ◎商品の故障等によって生じた他の機器への影響やデータ損失などの損害
 - ◎当社以外での改造、調整、部品交換などをされた場合
 - ◎説明書の記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷
 - ◎消耗品類の交換
 - ◎当社で不具合の確認が取れなかった場合
 - ◎外傷が酷い、付属品などが揃っていない場合
 - ◎メーカー保証書があるにも関わらず紛失している場合
6. 交換、修理後の製品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日とします。
7. この保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
8. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本製品の使用または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)に関して当社は一切の責任を負わないものとします。

※この保証書は、保証規定に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

本書は、保証規定内容により、下記の保証期間中に故障が発生した場合に無償修理させて頂くことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、当社まで修理のご依頼の上、本書をご提示ください。

※故障の起因がお客様の過失による場合は、有償対応となりますので予めご了承願います。

製品名	D10	
保証期間	■12ヶ月間 ※サポート ID 登録された方のみ有効	
ご購入日	年 月 日	
お客様 情報	お名前	
	ご住所	〒
	ご連絡先	
	E-mail アドレス	
販売店 情報		

アクセルトレーディング株式会社

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 3-14-9 三好第3ビル 302

サポート ID 登録用 URL : <http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

よくあるご質問とご回答 : <http://www.accel-trade.com/support/faq.html>

E-mail : support@accel-trade.com